

複素積分に関する補足問題集

作成日: 11/24/2016 Version: 1.0

配布日: 12/01/2016

このセットは複素積分に関する補足問題集である。

問題 1. 次の実変数複素数値関数 $f(t)$ の微分を計算せよ。

(1) $(5 + 6it)^{50}$. (2) $\exp(t^2 + it)$. (3) $\cos(\log(\sin(it)))$.

問題 2. 次の実変数複素数値関数 $f(t)$ に対して積分 $\int_0^x f(t) dt$ を計算せよ。

(1) $3i(1 + it)^2$. (2) $ie^{it}/(1 + e^{it})$. (3) $(2t + i)\cos(t^2 + it)$.

問題 3. 複素積分の以下の性質を厳密に示せ。

(1) $\int_{-C} f(z) dz = -\int_C f(z) dz$. (2) $\int_{C_1+C_2} f(z) dz = \int_{C_1} f(z) dz + \int_{C_2} f(z) dz$.

問題 4. 積分 $\int_{C_j} \bar{z} dz$ を次で与えられる積分路上で積分せよ。またその積分路を図示せよ。

(C_1) $z = 0$ から $z = 4 + 2i$ までの曲線 $z = t^2 + it$ ($0 \leq t \leq 2$).

(C_2) $z = 0$ と $z = 2i$ を直線で結んでから $z = 2i$ から $z = 4 + 2i$ まで直線で結ぶ。

(C_3) 四点 $0, a, ib, a + ib$ を頂点とする左回りの長方形。

(C_4) 原点中心で半径 r の左回りの円周。

問題 5. 領域 D の境界 ∂D は区分的に滑らかな有限個の曲線からなるものとし、正の向きをつけて積分路とすることにする。このとき次の等式が成り立つことを示せ。

$$\int_{\partial D} \bar{z} dz = 2i \times (D \text{ の面積}).$$

問題 6. 楕円 $x^2/4 + y^2 = 1$ に正の向きを付けた積分路 C に対して以下の積分を計算せよ。

$$\int_C \frac{2z}{z^2 - 1} \frac{dz}{2\pi i}$$

問題 7. 次の各場合 (1)–(3) について以下の積分を計算せよ。

$$\int_{|z|=r} \frac{4z - 3}{2z^2 - 3z - 2} \frac{dz}{2\pi i}$$

(1) $r = 1/4$. (2) $r = 1$. (3) $r = 4$.

問題 8. 次の積分を計算せよ.

- (1) $\int_{|z|=1} \frac{dz}{(z-a)(1-az)} \quad (a > 0, a \neq 1).$
- (2) $\int_0^{2\pi} \frac{d\theta}{1-2a \cos \theta + a^2} \quad (a > 0, a \neq 1).$
- (3) $\int_0^\pi \frac{d\theta}{a + \cos \theta} \quad (a > 1).$
- (4) $\int_{|z|=1} \frac{e^z}{z^{n+1}} dz.$
- (5) $\int_0^{2\pi} e^{\cos \theta} \cdot \cos(\sin \theta - n\theta) d\theta.$
- (6) $\int_{-\infty}^{\infty} \frac{dx}{1+x^4}.$
- (7) $\int_0^\infty \frac{x^{q-1}}{1+x^p} dx \quad (p, q \text{ は整数でかつ } 0 < q < p).$
- (8) $\int_{-\infty}^{\infty} \frac{\cos ax}{1+x^2} dx.$
- (9) $\int_0^\infty \frac{\sin x}{x} dx.$
- (10) $\int_{-\infty}^{\infty} \frac{\log \sqrt{x^2+a^2}}{1+x^2} dx.$
- (11) $\int_0^\infty \frac{x^\alpha}{x(1+x)} dx.$

問題 9. 実軸に対称な領域 D で正則な関数 $f(z)$ について、 $\overline{f(\bar{z})}$ も D で正則であることを示せ.

問題 10. 単位円板の近傍で正則な関数 f に対して以下の積分を求めよ.

$$\frac{1}{2\pi i} \int_{|z|=1} \frac{\overline{f(z)}}{z-a}.$$

問題 11. 開円板 $|z| < 1$ で正則な関数 $f(z)$ が決して値 0 を取らなければ、 $|z| < 1$ で正則な関数 $g(z)$ が存在して $f(z) = e^{g(z)}$ と表されることを証明せよ.